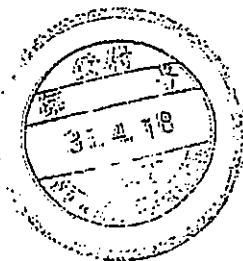


岡山市區づくり推進事業報告書  
(地域活動部門)

平成 31年 4月 18日

岡山市長 大森 雅夫 様



団体名 ガイサンフジタショウガノコクジシユボウサイキョウギカイ  
第三藤田小学校区自主防災協議会  
所在地 [REDACTED]  
連絡先 [REDACTED]  
代表者役職・氏名 フリガナ [REDACTED] オカモトハルミツ  
岡本晴光 [REDACTED]

(該当の分野を○で囲んでください)	
実施分野	<input checked="" type="checkbox"/> 地域課題解決
	<input type="checkbox"/> イ 地域課題掘り起し <input type="checkbox"/> ウ 地域計画づくり <input type="checkbox"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="checkbox"/> 才 その他
事業名	第三藤田小学校区自主防災協議会
事業実施区域 (小学校区)	第三藤田小学校区
①事業実施内容	※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。
	◇ 避難所生活体験訓練 ・平成30年11月7日(土)~8日(日)、第三藤田小学校体育館
	◇ 防災講演会 ・平成30年11月17日(日) 第三藤田小学校体育館、講師:理大 西村敬一氏
	◇ 「震災記念館・神戸」研修視察 ・各種団体代表者・関係者38名参加
②解決を目指した課題	第三藤田小学校区は児島湖、笹ヶ瀬川、倉敷川に囲まれた海拔0メートル地域で大雨、台風など常に水害の発生が予想される地域である。災害発生時、被害を最小限に止めるために地域住民すべてに「水が来たらどこに避難するか」「避難する時の準備はできているか」など日頃から考え準備しておくことが望まれる。高い防災意識と具体的な対応策を地域住民一人一人が考える「災害に強い地域」を実現するため防災の取り組みを継続・実施していくことが重要であると考える。

	<p>ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況      イ 地域課題掘り起し⇒堀り起こりにより明らかになった課題等      ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等      エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況      オ その他⇒定めた目標の達成状況      など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。</p> <p>③目的・目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 単位町内会別の防災リーダー育成について             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種団体代表者及びその関係者に防災訓練等参加を強く要請する。</li> <li>・ 防災講演会（参加者 161 名）、震災記念館・神戸研修視察（参加者 38 名）は目標達成できたと考えているが、避難所生活体験訓練では参加者 25 名中団体関係者は役員を除くと 4 名のみの参加で大きな課題となっている。</li> </ul> </li> <li>◇ 自助、共助の体制強化について             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災訓練（避難所生活体験訓練、講演会、研修視察など）夏祭り、各種団体総会など機会をとらえて防災意識を高める取り組みを依頼しているが具体的な避難物資の準備などなかなか浸透、拡大しない。</li> <li>・ 各種団体役員会・総会や連合町内会総会などの機会に単位町内会のリーダーが防災に関する話し合いの時間を持ち意識を高める取り組みを進める。</li> </ul> </li> </ul>
	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <p>④企画等の工夫と情報公開</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 防災訓練の内容を必要に応じて変化をつけ実施（避難所生活体験訓練を除く）した。</li> <li>② 防災講演会について消防車による広報活動の実施や案内チラシを各戸配布し、更に小学校・保育園保護者に配布した。</li> <li>③ 避難所生活体験訓練に各種団体代表及びその関係者の参加を要望し体験をもとに周知を図るとともに、案内チラシや防災新聞を通して幼児から高齢者まで参加できる体制を作り実際の避難所生活に近い環境づくりに努めたい。</li> </ol> <p>※徐々に防災意識が地域住民に浸透し広がりを見せているが、更に確実なものにするため防災活動を継続して実施する。</p>

	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>① 防災訓練；岡山南消防署の協力を仰ぎ防災訓練を実施する。合わせて炊き出し訓練を行う。</p> <p>② 避難所生活体験訓練；参加未経験者の参加を呼びかける。</p> <p>③ 震災記念館・淡路研修視察；各種団体関係者（震災記念館・神戸の参加者以外）の参加を促す。</p> <p>④ 防災新聞の発行</p> <p>※ 防災講演会は隔年実施の予定</p>						
	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。</p> <p>① 事業実施メンバーは各種団体代表者を中心に組織されているため、役員の交代時も安定した活動が約束され地域づくりに貢献できていると考える。</p> <p>② 事業実施メンバーの常任委員（会長から監査まで）を固定するため連合町内会長に変えて副会長、監事を新たに選任しその充実を図る。</p> <p>③ 事業については必要とされている内容で実施できているが、より一層、参加者を増やすための広報活動等工夫していきたい。</p>						
⑤ 次年度計画 ⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;">           ○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容            ・広報の工夫            ・他地区との共同開催（効果的であると思わない）         </td><td style="padding: 5px; vertical-align: top;">           助言等の内容について、改善ができましたか。         </td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">           右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（　）内へ記入して下さい。            （理由：　　）         </td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right; padding: 5px;">           I できた            Ⅱ おおむねできた            Ⅲ 一部できなかった            Ⅳ まったくできなかった            Ⅴ 改善意見がなかった         </td></tr> </table>	○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 ・広報の工夫 ・他地区との共同開催（効果的であると思わない）	助言等の内容について、改善ができましたか。	右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（　）内へ記入して下さい。 （理由：　　）		I できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった	
○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 ・広報の工夫 ・他地区との共同開催（効果的であると思わない）	助言等の内容について、改善ができましたか。						
右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（　）内へ記入して下さい。 （理由：　　）							
I できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった							

## ⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
30年 5月18日	コミュニティ協議会総会(議題;自主防災協議会の活動計画、夏祭りについて)
30年 8月14日	六区夏祭り「防災コーナーの展示」、「防災のお願い」
30年 8月25日	夏祭りの反省 防災協議会活動計画の審議
30年11月3～4日	避難所生活体験訓練;参加者36名(宿泊25名)
30年 11月 17 日	防災講演会(講師;理科大学・西村敬一氏)参加者161名
31年 1月 17 日	自主防災協議会役員会(事業報告、震災記念館・神戸の実施内容の伝達と参加者の決定)
31年 2月 24 日	震災記念館・神戸研修視察(参加者38名)

## ⑩ 収支決算書

### ◆収入

(単位:円)

費目	予算額	決算額	備考
岡山市補助金	604,000	377,900	
協賛金	6,000		
負担金	45,000	112,114	
広告料	0		
寄付、他収入	100,000	100,000	
計	755,000	497,414	

### ◆支出

(単位:円)

費目	予算額	決算額		内容 (必ず記載してください)
		総事業費額	補助対象額	
消耗品費	90,000	117,457	117,457	コピー用紙、炊き出し用かまど等
食糧費	55,000	9,849	9,849	お茶等
印刷製本費	85,000	63,940	63,940	防災新聞印刷代
燃料費	0	0	0	
光熱水費	0	0	0	
通信運搬費	50,000	1,798	1,798	役員会開催案内発送
広告料	0	0	0	
手数料	0	0	0	
使用料・賃借料	35,000	0	0	
原材料費	20,000	0	0	
委託料	0	0	0	
工事請負費	0	0	0	
報償費	20,000	25,000	0	防災講演会の講師謝礼
保険料	50,000	2,000	2,000	2/24神戸震災記念館参加者保険代
旅費	350,000	277,370	277,370	2/25神戸震災記念館視察バス代
計	755,000	497,414	472,414	